

【文字の使い分け】

『神』に直接お祈りする時や説明に使う文章には、特別に使う文字があります。

- 5 いただく [戴く] (戴冠式などの時に使う“戴く”)
・『神』から直接いただく事を意味しています。
[頂く] (山の頂上などの時に使う“頂く”)
・それ以外。
- 10 まことに [真に] (真実の真の字の“真に”)
・『神』に対する事を意味しています。
・真(まこと)と、神(かみ)は、言霊が共通です。
[誠に] (誠実の誠の字の“誠に”)
・それ以外。

15

【言霊・音霊】

- 20 発した言葉は声の大きさに関係なく、無声音でも一語一句、霊界に通じていますので、自分の発言が、自分の運勢や人生に大きく影響を与えます。
丁寧な言葉遣い、上品な言葉遣いをしていると、運勢が向上していきます。
- ・特に感謝の言葉『ありがとう。』を言っていると、次々に予期しない良い事が生まれてきますので、縁のある大勢の方々に、沢山『ありがとう。』を言いましょう。

25

※ 『ありがとう。』の意味と具体的な使い方は《71P》より解説

- 30 神(神様の“神”)、紙(折り紙などの“紙”)、上(上と下の“上”)など音が共通するものには、通じる場所があります。
紙は火と水を大量に使って作るものであり、また、火(カ)と水(ミ)を合わせて、紙(カミ)という言霊になります。
紙(折り紙などの“紙”)は、神(神様の“神”)に通じます。
そのため、トイレットペーパー、ティッシュペーパーなどを必要以上に使って、紙を無駄にすることは、神様を蔑ろにする事に通じることになり、運勢が低下しますから、注意して、大切に使いましょう。
- 35